

平成 21 年 1 月 6 日

各 位

本店所在地 東京都港区東新橋二丁目 4 番 1 号
 会 社 名 株式会社T&Cホールディングス
 代表者名 代表取締役 田中茂樹
 (コード番号 3832)
 問合せ先 社長室長 笠屋雅義
 (TEL. 03-5425-7013)

業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 1 月 11 日の決算発表時に公表いたしました平成 20 年 11 月期（平成 19 年 12 月 1 日から平成 20 年 11 月 30 日）の連結及び個別の業績予想及び配当予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 11 月期業績予想の修正

(1) 連結業績予想数値の修正（平成 19 年 12 月 1 日 ～ 平成 20 年 11 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	2,037	476	413	120	9,332 円 71 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	1,266	△176	△285	△559	△42,473 円 49 銭
増 減 額 (B-A)	△771	△652	△698	△679	—
増 減 率 (%)	△37.8	—	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 11 月期実績	1,448	266	229	126	9,923 円 29 銭

(2) 個別業績予想数値の修正（平成 19 年 12 月 1 日 ～ 平成 20 年 11 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	422	30	△34	△36	—
今 回 修 正 予 想 (B)	300	△111	△166	△417	—
増 減 額 (B-A)	△122	△141	△132	△381	—
増 減 率 (%)	△28.9	—	—	—	—
(ご参考) 平成 19 年 11 月期実績	480	115	59	37	2,974 円 53 銭

(3) 業績予想の修正の理由

連結売上高が当初予想に対して減額をいたしますのは、金融アドバイザー事業において、平成 20 年 11 月期に予定していた映画の売上やファンドの償還に伴う成功報酬の売上が、世界的な金融危機拡大の影響により翌期に繰り越されたこと、並びに国内の投資情報提供事業において中国株情報提供サービスが低迷したことが主たる要因となります。このため連結売上高が 1,266 百万円（当初予想比約 771 百万円の減額）となる見込みです。

連結営業利益・経常利益につきましては、厳格なコスト管理を進め経費抑制に努めましたが、連結売上高の計画未達の影響を受け、各々当初予想比約 652 百万円、698 百万円の減額となる見込みです。当期連結純利益につきましては、法人税や少数株主持分が減少するとともに投資有価証券売却益を計上したものの、投資有価証券評価損（約 421 百万円）が発生したため、当初予想比約 679 百万円減額する見込みです。

個別業績予想につきましては、連結子会社の収益が計画未達だった影響を受け経営管理収入等が減少したことから、売上高は当初予想比約 122 百万円の減額となる見込みです。

営業利益・経常利益につきましては、人件費を中心にコスト削減を行いました。支払報酬や海外拠点拡充に伴う家賃等の増加により、各々当初予想比約 141 百万円、132 百万円減額する見込みです。当期純利益につきましては、連結業績同様に投資有価証券売却益の計上がありました。投資有価証券評価損が発生したため、当初予想比約 381 百万円減額する見込みです。

2. 平成 20 年 11 月期配当予想の修正

(1) 修正の内容

	中間配当	期末配当	年間配当
前回予想 (平成 20 年 1 月 11 日)	－円	1,500 円	1,500 円
今回修正予想	－円	0 円	0 円
(ご参考) 平成 19 年 11 月期実績	－円	0 円	0 円

(2) 修正の理由

当社は株主還元を経営の重要課題と認識しており期末配当を実施する予定でありましたが、上記業績修正に伴い誠に遺憾ではございますが、期末配当予想を無配に修正させていただきます。

※今回の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上